

令和3年度市政懇談会 会議録（要旨）

テーマ：地域が抱える問題について

【日 時】 令和3年7月1日（月） 19時00分 ～ 20時00分
【場 所】 東岐波ふれあいセンター
【出席者】 ○篠崎市長 ○地区代表者（5名） 東岐波地区コミュニティ協議会会長：松田 保美 東岐波地区社会福祉協議会会長：中野 実 東岐波地区コミュニティ協議会女性部：赤川 和恵 東岐波地区コミュニティ協議会寿会：箱田 征治 東岐波中学校PTA：村岡 桂子 ○政策広報室次長 ○総合戦略局 ○秘書課 ○事務局（広報広聴課）
【概 要】 1 開会 2 参加者自己紹介 3 市長あいさつ 4 意見交換・懇談 5 閉会
【意見交換・懇談】
○コロナ禍における自治連会合について 【コミュニティ協議会会長】 ・コロナ禍において、自治会連合会、コミュニティ推進協議会、社会福祉協議会の3団体とも、総会が書面決議になった。書面決議では情報交換が出来ないため、開催方法や参加人数の調整などにより、会合ができるよう考えていただきたい。 【市長】 ・新しい生活様式を取り入れる仕組みを市でも導入している。例えば、ふれあいセンターにオンライン会議が出来る機材を導入し、使い方についても今年度から講習会を実施することとしている。また、対面形式での開催もできる限り進めていきたい。
○市政懇談会について 【コミュニティ協議会会長】 ・定期的に開催してほしい。

【市長】

- ・来年度以降も、24 地区での市政懇談会を開催する予定である。新たな課題等も聞かせてほしい。また今年度、要望された課題の進捗についても報告したい。

○地区への事前調整について

【コミュニティ協議会会長】

- ・市から地区への要望事項について、事前説明などを充分やっていただければ、スムーズに実施できるのではないかと。

【市長】

- ・社会の変化によって、地域の皆さんに負担をお願いする政策も出てくるが、その時は相談させてほしい。事前説明をさせていただき、合意形成を図っていきたい。

○丸尾・岐波駅について

【コミュニティ協議会会長】

- ・丸尾駅の駐輪場や照明、トイレ等を整備して欲しい。
- ・岐波駅も昨年度改修されたが、屋根が無いので雨が降った時に、駅の中が濡れてしまい、利用者が大変困っている。市からも JR に要望していただきたい。

【市長】

- ・駅舎を気持ちよく利用できるよう、JR 西日本にお願いする。街灯や駐輪場付近の整備については、市の助成制度もあるので、担当課から制度の紹介をさせていただく。
- ・草江駅では駅舎がペイントされ、きれいになり、治安の面でも効果があった。利用する駅への愛着にもつながっている。駅舎アートの詳細については、担当部署が、総合戦略局交通政策推進グループになるので、後日説明させる。

○わかみや橋について

【社会福祉協議会会長】

- ・キワ・ラ・ビーチ入り口のわかみや橋は、キワ・ラ・ビーチの整備以前は生活道として使用され、車の乗り入れが可能であったが、整備後は一般車両の通行が禁止となり、生活に支障をきたしている。車の乗り入れを可能にしていきたい。また、キワ・ラ・ビーチは観光資源として可能性があるため、地元と一緒に考えていきたい。

【市長】

- ・今年、キワ・ラ・ビーチはリニューアルを行う予定である。わかみや橋については、現状を確認した上で今後の方向性を検討していく。

○水落地区通学路について

【社会福祉協議会会長】

- ・道路の幅員が狭い箇所がある。朝の通学時間、車の通行量が多いため、低学年の生徒

が怖がっている。対策をお願いしたい。

【市長】

- ・通学路は安全を確保しなければならない。当該地区については、今年度、グリーンベルトの整備をすることになっている。車の速度規制についても住民の皆さんの意見を聞きながら検討していく。

○市長と児童との対話について

【コミュニティ協議会女性部】

- ・東岐波子ども食堂「日の山レストラン」を、月1回第2土曜日に実施している。その際、食事だけでなく、地域の人材発掘を兼ねて、地域の方から話を聞く、学習タイムを実施している。市長に学習タイムでの子どもたちの様子を見学してもらいたい。

【市長】

- ・7月10日の開催時に見学させていただく。
- ・子どもの居場所づくりが社会環境の変化により必要となってきた。地域の取り組みに対し、市も出来るだけ協力していきたい。

○寿会について

【コミュニティ協議会寿会】

- ・老人クラブに参加する会員が集まらず困っている。

【市長】

- ・地域活動の参加者の減少は、どの地区でも大きな問題となっている。市民の皆さんが入りやすい老人クラブについて検討し、市としても応援していきたい。

○不登校の児童及び親の支援について

【PTA】

- ・琴芝で開催していたふれあい学級が、各学校区でも整備がすすみ、環境がよくなってきたことはよいことである。ただ、子どものケアに加え、不登校児童の親に対する、ピアサポートが出来る場の提供や、他の地区での取り組みについて情報提供してほしい。
- ・オンラインによる授業が実施されているが、不登校児童がオンラインで授業を受け、出席日数にカウントできるような仕組みはできないか。

【市長】

- ・宇部市内にある「NPO法人ふらっとコミュニティひだまり」は、ひきこもりの家族に焦点をあてたアウトリーチ型の支援を行っている。全国的に注目されている取り組みを行っているので、紹介させてほしい。
- ・引きこもりの子どもや、不登校の子どもがどのような環境であっても教育を受ける場を提供することが行政の義務であると考えている。
- ・フリースクールへ通学することへの財政的な支援も検討している。

- ・相談窓口を設置し、皆さんに寄り添えるサービスを展開していきたい。
- ・国がすすめる GIGA スクール構想により、本市はオンライン授業等をパソコンやタブレット等で活用しすすめている。不登校児童のオンライン授業出席日数のカウントについては、持ち帰って教育委員会と検討したい。

【その他】

○体験授業について

【コミュニティ協議会会長】

- ・小学校の体験事業で田植えをしているが、支援が無いか。

【市長】

- ・体験は大事である。自然体験など様々な経験を積ませていく取組を応援していきたい。

○特産品の車エビについて

【コミュニティ協議会会長】

- ・東岐波地区の特産品である車エビを活用したイベントをキラ・ラ・ビーチ周辺で出来ないか。

【市長】

- ・東岐波地区でも、車エビの養殖をされているので、企画を検討していきたい。

○彫刻の設置について

【コミュニティ協議会女性部】

- ・彫刻を、ときわ公園や中心市街地だけでなく、各地区にも設置してほしい。

【市長】

- ・費用面の問題もあり、全地区一斉には出来ないが、各地区への設置を順次進めていきたい。

○高齢者へのパソコン教室について

【女性部】

- ・年金受給者に対するパソコン教室の復活をお願いしたい。

【市長】

- ・パソコン教室、スマホ教室はニーズが高いようなので、社会教育の一貫として進めていきたい。

○他地区との情報共有について

【コミュニティ協議会会長】

- ・他地区の市政懇談会で出た意見を共有してほしい。

【市長】

- ・今回お伺いした 24 地区の中での共通の課題として、自治会活動・地域活動に参加す

る人の減少や若い世代の参加等の課題が寄せられた。子ども会活動は、地域活動参加への第一歩になっているが、子ども会への参加が減っているため、今後、自治会活動をする方も減っていくことが見込まれる。

- ・共働き世帯が増え、社会の状況も変化している中で、子ども会の入会条件が変わっていない。どうすれば、加入しやすいのか検討する必要がある。
- ・ライフスタイルに併せて地域活動に参加しやすい環境を整えていくことが必要だと考える。
- ・地区によっては、学校の統廃合の話も出たが、学校区の再編も含め、市全体のバランスも考えながら、子どもたちの教育環境を最優先に考慮し、長期的に進めていく。

【市長】

- ・地域の方からのご提言は、市行政が一步踏み出す後押しとなる。
- ・今後も、地域の皆様と課題を共有しながら、次世代の地域づくり、宇部市づくりに一緒になって取り組んでいきたい。様々な意見を聞かせてほしい。